



田中 伸一
(平成の会)

庁舎建設計画・世界遺産ぐんま絹遺産 継承・人口減少と少子高齢化への対策に ついて

問 庁舎建設について

答 建物の耐震性は。

本庁舎のうち、耐震改修が必要な建物は、新庁舎と保健センターの間の建物で、二棟に分かれており、東側を旧庁舎、西側を中庁舎と呼んでいます。東側の旧庁舎は、昭和三十四年の建築で五十六年が経過、西側の中庁舎は、昭和四十四年の建築で四十六年が経過し、それぞれ耐震に著しい問題があります。

問 耐震改修の整備計画はどうか

答 本庁舎の耐震改修は「建替」となる見込みですので、基本構想や基本設計などに十分な検討や協議が必要です。このため、着手から完成までに五年程度を見込んでいます。また、平成二十七年では、庁舎に専門のプロジェクトを設置し、計画検討します。

問 合併特例債の活用及び完成予定

定年度はいつか。

答 庁舎の耐震改修は、非常に大きな課題と認識しており、財源として合併特例債の活用も必要と考えています。完成予定年度は、合併特例債の発行期限が平成三十二年までとなっているので、それまでに間に合うよう努力いたします。

その他、世界遺産、ぐんま絹遺産継承・人口減少と少子高齢化への対策について質問しました。



安中市役所中庁舎



高橋 由信
(ふおれすと)

災害時における避難行動要支援者・ 雪害時の被災者支援について

問 名簿作成のための情報収集について

答 災害時に、自力では避難が困難な方を支援するための名簿作成が、昨年より始まったが、進捗状況については。

答 同意確認書は、福祉課、介護高齢課と合わせ千八百七十八名に配布し、七百五十四名より返信があり、回収率四〇・一四％です。

問 同意確認書の意味がわからず、未提出の方への対応は。

答 ケアマネージャー・民生委員、福祉施設・相談支援施設等に協力を仰ぎ、さらに広報・お知らせ版等を活用し周知を図ります。

問 名簿を基に個別の避難支援の計画作成は。

答 市が、民生委員・自主防災組織・自治会等にコーディネーターとしての役割をお願いし、個々のより具体的な行動計画を策定していきます。

問 福祉避難所については、二年

前にも質問したが、指定の進捗状況については。

答 現時点で指定された場所はないが、現在、複数の福祉施設と協議を行っています。

問 防災・危機管理全体として言えることは、一部局だけで考えたり進めたりしても良い方向には向かない。庁内全体での取り組みが必要だが、市長の考えは。

答 防災・危機管理は、重要な課題です。各局が横の連携を強化し早急に進めてまいります。



避難所開設マニュアル